

平成 26 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 五 洋 食 品 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 舛 田 圭 良
(コード番号 2230 TOKYO PRO Market)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 森 健 介
(TEL 092-332-9610)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 1 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 26 年 5 月期通期業績予想数値の修正（平成 25 年 6 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,353	百万円 44	百万円 12	百万円 17	円 銭 17.96
今回修正予想 (B)	1,327	△8	△41	△36	△38.12
増減額 (B-A)	△26	△52	△53	△53	
増減率 (%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 5 月期)	1,187	△141	△163	△154	△162.51

※今回修正予想欄の 1 株当たり当期純利益は、平成 26 年 4 月末現在の自己株式を除く期中平均株式数 949,229 を分母として算出しております。

修正の理由

通期の業績につきましては、売上高は 1,327 百万円（前年同期比 11.7%増）と前年実績を上回りほぼ見込み通りとなる見通しでございます。しかしながら営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、前期実績からの赤字幅は大幅に縮小するものの、平成 26 年 1 月 14 日に公表した業績予想からは、営業利益△52 百万円、経常利益△53 百万円、当期純利益△53

百万円それぞれ下方修正し、営業損失 8 百万円、経常損失 41 百万円、当期純損失 36 百万円となる見通しであります。その理由は以下のとおりです。

前期より繰り越した過剰在庫の圧縮を図るために、第 1 四半期に販売価格の調整を行い、加えて生産調整を敢行し、商品 1 単位当たりの製造間接費配賦額が上昇した結果、双方で売上総利益を圧迫いたしました。販売費及び一般管理費については、役員員数及び報酬の削減、営業事務所の閉鎖と本社への統合、および業務の内製化による業務委託費の削減等を進めてまいりましたが、売上総利益の落ち込みをカバーするには至らず、前回発表数値を下回る見通しでございます。

尚、目標とする在庫削減の達成に一定の目途がついたため、第三四半期より増産体制にシフトさせることで生産金額を増額させ、単位当たり製造原価は低下し、売上高総利益率は正常化しております。また第 1 四半期に生産調整を敢行し、在庫削減したことにより営業キャッシュフローは改善しております。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上